

作成日 2023 年 6 月 11 日
(最終更新日 2024 年 1 月 7 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：機械学習を用いた、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(RARP)のアウトカムを予測する研究

1. 研究の対象

2012 年 4 月～2022 年 3 月に当院及び共同研究機関でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術 (RARP) を受けられた方

2. 研究期間

(研究実施許可日) ～2026 年 3 月

3. 研究開始の予定日 (研究のために情報を利用、または他の研究機関等へ提供を開始する予定日)

2024 年 3 月 12 日

4. 研究目的

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘の周術期データを用い、機械学習的手法により前立腺全摘除術の手術時間や術後排尿機能、患者 QOL などが予測可能かどうかを検証することを目的としています。

5. 研究方法

2012 年 4 月～2022 年 3 月に当院および共同研究機関でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術(RARP)を受けられた方の周術期データを診療録より収集し、機械学習で評価します。

説明変数として患者背景、病歴、検査結果、手術所見など

目的変数として、手術時間、QOL 記録、排尿記録など

6. 研究に用いる試料・情報の種類

説明変数として患者背景、病歴、検査結果、手術所見など

目的変数として、手術時間、QOL 記録、排尿記録など

7. 外部への試料・情報の提供

あり

8. 研究組織

東北大学病院(研究責任者:川守田 直樹)

宮城県立がんセンター(研究責任者:安達 尚宣)

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究では研究費を使用しません。

当センターでは、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究に関する問合せ窓口：

研究責任医師 宮城県立がんセンター 泌尿器科 安達尚宣

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47-1 TEL.022-384-3151(代表)

◆個人情報の開示等に関するお問い合わせ先

宮城県立がんセンター事務局医事グループ 連絡先 022-384-3151 (代表) 内線 144